

平成24年度

尼崎の教職員を支援するために

— 平成24年度事業計画 —

— 平成23年度事業報告 —

尼崎市教育委員会事務局 学校教育部

教育総合センター

目 次

平成24年度 『尼崎の教職員を支援するために』

平成24年度事業計画

1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	3
3	尼崎の課題	4
4	具体的な取り組み	5
5	研修をすすめるにあたって	8
6	研修体系図	9
7	教育総合センター研修一覧表	10
8	教職員研修計画内容	12
9	視聴覚センターの研修・普及事業	19
10	研修・研修講座分担一覧	20
11	文科省・県教委等の実施する研修一覧	23

平成23年度事業報告

12	平成23年度研修報告	24
13	平成23年度教育相談担当の研修事業等報告	33
14	平成23年度教育研究部会の概要報告	36
15	児童生徒文化充実支援事業の概要報告	39
16	平成23年度視聴覚センター事業報告	40
17	平成23年度教科書センター事業報告	41
18	平成23年度教育情報の収集・整理事業報告	41

資料

欠席届（様式3・4・5）	42
--------------	----

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、教職員の研修、教育の情報化の推進、教育相談の3事業を担当するとともに、児童生徒文化充実支援事業を中心に市内小・中学校の各教科研究会と連携し、その実践的な取組を支援している。以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

1 運営方針

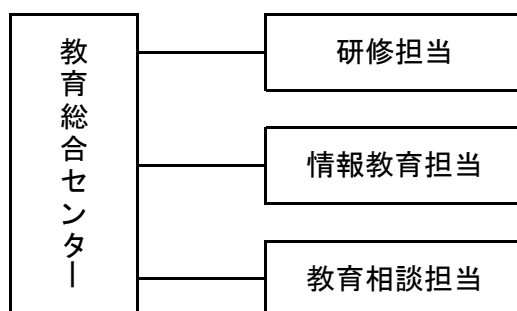
兵庫県においては教育の基本計画となる「ひょうご教育創造プラン」を策定し、「こころ豊かな人づくり」の基本理念に基づき「確かな学力」の確立、自立心や自律性など、道徳性をはじめとする「豊かな心」の育成、いじめ・不登校対応など子どもたちの「心」を支えるシステムの充実、教職員の資質能力の向上などを目指している。

中学校において、新学習指導要領が完全実施となる本年度、本市では平成24年度「学校教育に関する重点取り組み」を定めた。その中で「滑らかな成長につなげる校種間の連携」を中心とした、確かな学力を身につけさせる取り組み、心の安定や良好な人間関係づくりを進めていくための「道徳性の涵養・基本的生活習慣の確立」と「校内の相談体制の充実」、「教職に関する専門性」を高めるとともに「実践的指導力」を身につけること、などを示した。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性と市の課題に対応すべく、研修体系や相談体制に基づき、教職員の不断の研究と修養を支援するとともに、いじめ・不登校・非行問題・しつけ・虐待などに対し、子どもや家庭、学校への支援の充実を図る。

2 主な事業の概要

教育総合センターには研修・情報教育・教育相談の3つの担当があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。



<調査研究・教材開発事業>

学校教育に関する専門的・技術的事項について、所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し、センターの指導主事と協力して実践的な研究を進める。

成果は研究紀要（平成24年度末に第50号を発刊）にまとめるとともに、全国教育研究所連盟、近畿地区教育研究所連盟、兵庫県教育研究所連盟、教育総合センター研究発表会等で発表していく。（教員研修モデルカリキュラム開発【23・24年度】に取り組む。）

<教職員研修事業>

県・市の方針のもと、本市課題を把握し、研修体系の見直しを行った。

- 1 教員の資質向上を図る
- 2 市の教育課題に対応する

- 3 新学習指導要領に対応する
- 4 中核市として主体的に研修の充実を図る
- 5 学校・園のニーズに応える

以上の5点を柱とし、研修事業を進めていく。

<児童生徒文化充実支援事業>

児童生徒の個性・能力の伸長、学習への興味・関心・意欲を高めるため、児童生徒文化発表会等の文化的活動の奨励及び小・中学校の各教科研究会の実践的な取組を支援する。

<マイスター認定事業>

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰するとともに、優れた授業を広く公開し、実践的指導力の向上を支援する。

<ぐんぐんのびる個別ドリルシステム活用事業>

児童一人一人の進度にあった、計算や漢字の個別ドリルを印刷するシステムを活用し、児童の学習意欲を促すとともに、繰り返し学習させながら、つまづきを発見し、次のステップへ進むための個別指導を支援する。

<学校情報通信ネットワークシステム関係事業>

教育の情報化を推進する。児童・生徒に対し、情報活用能力の育成を図るとともに、ICTを活用した授業や、情報モラル教育の充実を図る。また、校務の情報化を推進し、業務の改善により生み出した時間を、児童・生徒と関わる時間に充てる。ネットワークの活用では、学校間、教育委員会の情報共有や、学校からの情報をホームページに公開する。

<教育相談事業>

教育上の課題を持つ子ども、悩みを持つ保護者や学校・園からの相談に応じ、子どもの心身の望ましい発達を図るための支援を行う。

- 1 カウンセリングや心理テスト、各種の心理療法を取り入れ、的確な助言により問題解決を図る
- 2 教育相談の方法として、面接相談、電話相談、出張相談を行う
- 3 スーパーバイザーによる相談員への指導助言を行う
- 4 専門相談員（臨床心理士等）による個別相談を行う

<高等学校カウンセラー派遣事業>

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員のカウンセリング技能の向上を図るとともに、心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談を実施する。

<教育情報の収集と提供事業>

教育に関する図書、雑誌及び全国教育センターの研究報告書、市内学校・園の研究誌等を収集するとともに、利用しやすいように整備し、貸出を行う。広報活動として「教育あまがさき」（年間2回）「教育総合センターだより」（年間4回）を発行する。

また、教職員及び市民の教科書研究のため、教科書センターを常設する。

<視聴覚センター事業>

市民等を対象に、16ミリ映写機操作技術講習会を実施するほか、16ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、DVDや液晶プロジェクタ等の貸出を行う。

2 研修体系策定の方針

本年度、中核市移行後3年を終え、以下の5点をもとに研修体系の充実を図った。

1 教員の資質向上を図る

尼崎の課題を把握し、分析を行った。それらの課題を解決するためには、

- 教育への情熱と責任感
- 確かな授業力
- 豊かな専門性
- 柔軟な指導力

といった資質の向上が必要であると考える。

そこで、それらの資質を備えた教師像（あるべき教師像）を掲げ、その教師像に迫れるように研修体系を充実する。

2 市の教育課題に対応する

学力向上、子ども理解、異校・園種の連携、不登校などの課題がある。また、若手教員の急増期を迎え、若手教員研修及びミドルリーダー研修の充実を図り、それらに対応できるように研修体系を充実する。今年度は昨年の中核市移行を受け、防災・安全教育に関する研修も実施する。

3 新学習指導要領に対応する

小学校は平成23年度より、中学校は今年度より新学習指導要領が完全実施される。具体的な改善内容を踏まえ、言語活動の充実、道徳教育の充実、理数教育の充実、小学校外国語活動の充実等、新学習指導要領に対応できるように研修体系を充実する。

4 中核市として主体的に研修の充実を図る

本市は、平成21年度より中核市に移行し3年を終える。初任者研修や10年経験者研修などの法定研修、5年目および15年目研修など県から移譲された研修などを含め本市の独自性を織り込ませた研修体系の一層の充実を図る。

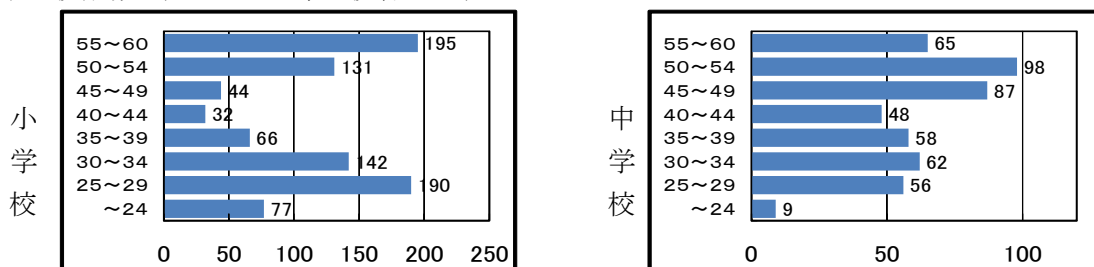
5 学校・園のニーズに応える

教員の資質向上を図るためには、市の研修や学校で行う校内研修と自己研修が相互に関連することが大切である。そこで、校内研修の実態を把握するとともに、「センター研修事業連絡協議会」（平成23年度は2回実施）の意見を研修に反映していくなど、学校・園のニーズに的確に応えられるように研修体系を充実する。

3 尼崎の課題

【組織力の維持・向上】ここ数年、新任教員の採用数が増えており、学校組織において中核となる教員の割合が減少している。ベテラン教員の技術を若手の教員に伝えていくなど、教育技術の伝達・継承を図ることとミドルリーダーの育成と組織力の維持・向上を図ることが求められる。

年齢別教諭数（H23 尼崎の教育より）



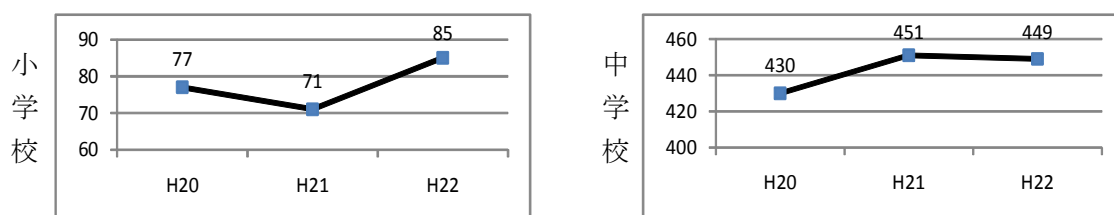
【学力向上】教員の授業への取組は、年々改善傾向にあり、その授業改善は、子どもの学力に大きな影響を与えている。今年度においてもさらなる取組をしていくことが必要である。

授業理解度（H22 学力・生活実態調査報告より）

	国語	社会	算数（数学）	理科
H19小学校	78.8%	62.3%	75.5%	79.1%
H22小学校	81.9%	76.9%	72.8%	76.2%
H19中学校	58.8%	48.7%	53.1%	45.9%
H22中学校	64.9%	62.2%	51.3%	48.9%

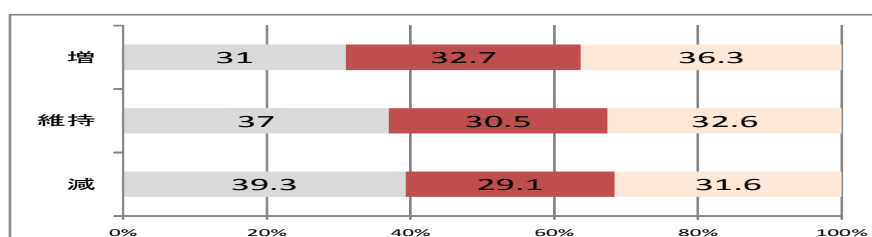
【子ども理解】本市における不登校児童生徒の数は、増加傾向にある。子どもの内面を理解し、信頼関係を築き、成長の支援をしていくことが大切である。教員には、子どもの心を理解し、柔軟な指導ができる力量が求められている。

不登校児童生徒人数の推移



【異校・園種の連携】子どもは、幼稚園から高等学校まで一貫した流れの中で育っていく。近年、小1プロブレムや中1ギャップ、また、高校進学後の退学等、様々な課題がある。学校・園が、子どもの成長を支援するため、それぞれの役割を認識し、一貫性のある教育を推進するため、異校・園種の連携を図っていくことが課題である。

不安（中学校生活）の推移×小中連携実施状況（H23 尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告より）



小中連携実施状況：高

小中連携実施状況：中

小中連携実施状況：低

4 具体的な取組

「2 研修体系策定の方針」を受け、平成24年度教育総合センターにおける研修事業の具体的な取組を実施していく。

1 教員の資質向上を図る

尼崎の課題に迫るため、「あるべき教師像」を掲げ、教員の資質向上を図る。

あるべき教師像

- ・子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師
- ・「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師
- ・自分の特性や特技を活かした豊かな専門性を持った教師
- ・時代の変化や今日的な課題に対処し、柔軟に指導できる教師

2 課題に対応する

本市の課題に対応した研修をめざす。

・ 子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師



校長や教頭、主幹教諭などの職務・職階に対応した研修

不登校児童生徒支援や特別支援教育、カウンセリングなどに関する研修

栄養教諭や養護教諭などの職責を遂行するための研修

子ども理解のための研修

人権問題について学ぶための研修

・ 「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師



授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実

教科の指導力向上をめざした研修

マイスター教員やベテラン教員の授業等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実

・ 自分の特性や特技を活かした豊かな専門性を持った教師



幼・小・中・特別支援・高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実

カウンセリングの技法や子ども理解のための研修の充実

各教科等に関する研修の充実

経験年数に応じた研修

・ 時代の変化や今日的な課題に対処し、柔軟に指導できる教師



中堅教員をミドルリーダーに養成するための研修の充実

小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小・中連携を図る研修の充実

地域との連携を図るため地域を知る研修の充実

防災・安全に関する研修

今日的課題に対応した研修

特別に実施する研修

3 新学習指導要領に対応する

小学校は平成23年度、中学校は平成24年度に全面実施の新教育課程に対応する研修をめざす。

- ・ 言語活動の充実（言語力向上や各教科の指導力をめざした研修など）
- ・ 理数教育の充実（実験などの演習を通した研修など）
- ・ 伝統や文化に関する教育の充実（地域の文化や歴史など、郷土に関した研修など）
- ・ 道徳教育の充実（道徳教育や道徳の時間の授業研究など）
- ・ 小学校外国語活動の充実（外国語活動のカリキュラムや授業づくりに関する研修）
- ・ 情報教育の充実（モラル・セキュリティに関する研修など）
- ・ 安全教育に関する教育の充実（安全面に関する研修など）

4 中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

<初任者研修（法定研修）の充実>

授業研究を中心に、道德教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営など、教員として必要な基礎を身に付けることをめざす。

初任者が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。研修場所は、教育総合センター以外に、学校や消防署、防災センターなど、尼崎の施設をできるだけ利用していく。

<10年経験者研修（法定研修）の充実>

グループによる教科指導や生徒指導等の研修から、より実践力を高めるとともに、必修として地域の行事等の活動に参加する地域活動研修講座を受講し、尼崎の課題や展望を見つめ、今後の教育活動に生かしていく。

<5年目・15年目研修（平成20年度まで県教委が主催）の充実>

5年目教員研修では、学級経営や教材開発を軸にした研修を実施していく。自分の教育活動を振り返り、若手教員のリーダーとしての自覚を促す。

15年目教員研修では、自己点検を行う時期と捉え、自己管理、自己開発を軸とした研修を実施していく。

<若手教員研修の充実>

1年目、2年目、3年目、4年目、5年目教員を対象に授業研究や学級経営の研修を実施していく。グループ討議や異校種交流研修などを含め、交流しながら多様な形態で実施する。

<ミドルリーダー研修の充実>

今年度は、中堅教員の育成を目指して、対象枠を拡大して、ミドルリーダー研修の充実を図る。

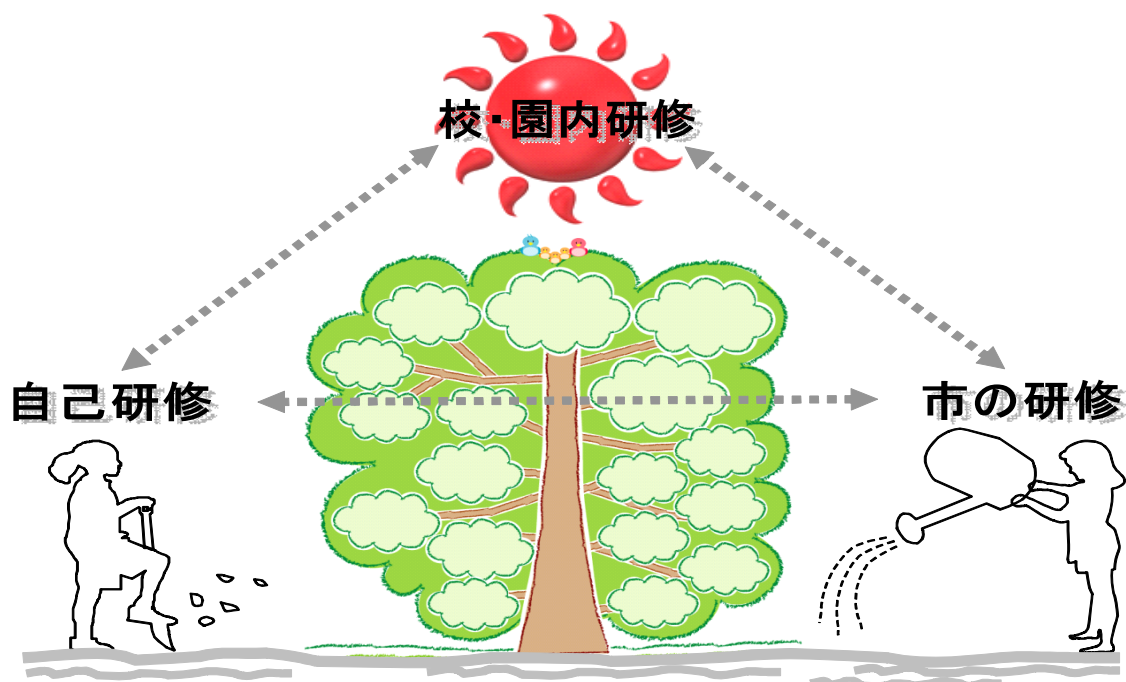
5 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケート、校・園長に研修への意見や要望の聞きとり、研究会との連携、そして、校・園長の代表者と教育総合センターの研修のあり方を協議する「センター研修事業連絡協議会」（年2回実施）など、研修へのニーズを多方面から取り入れ、研修事業に生かしていく。

年間計画に当初より予定している研修講座はもとより、緊急性や必要性のあるときなど、学校・園のニーズにタイムリーに応えることのできる研修体系を整える。

5 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、各自の適性に応じて行う「自己研修」、教育総合センターの実施する「市の研修」等があるが、それらが補完し合って教員の成長を促していく。



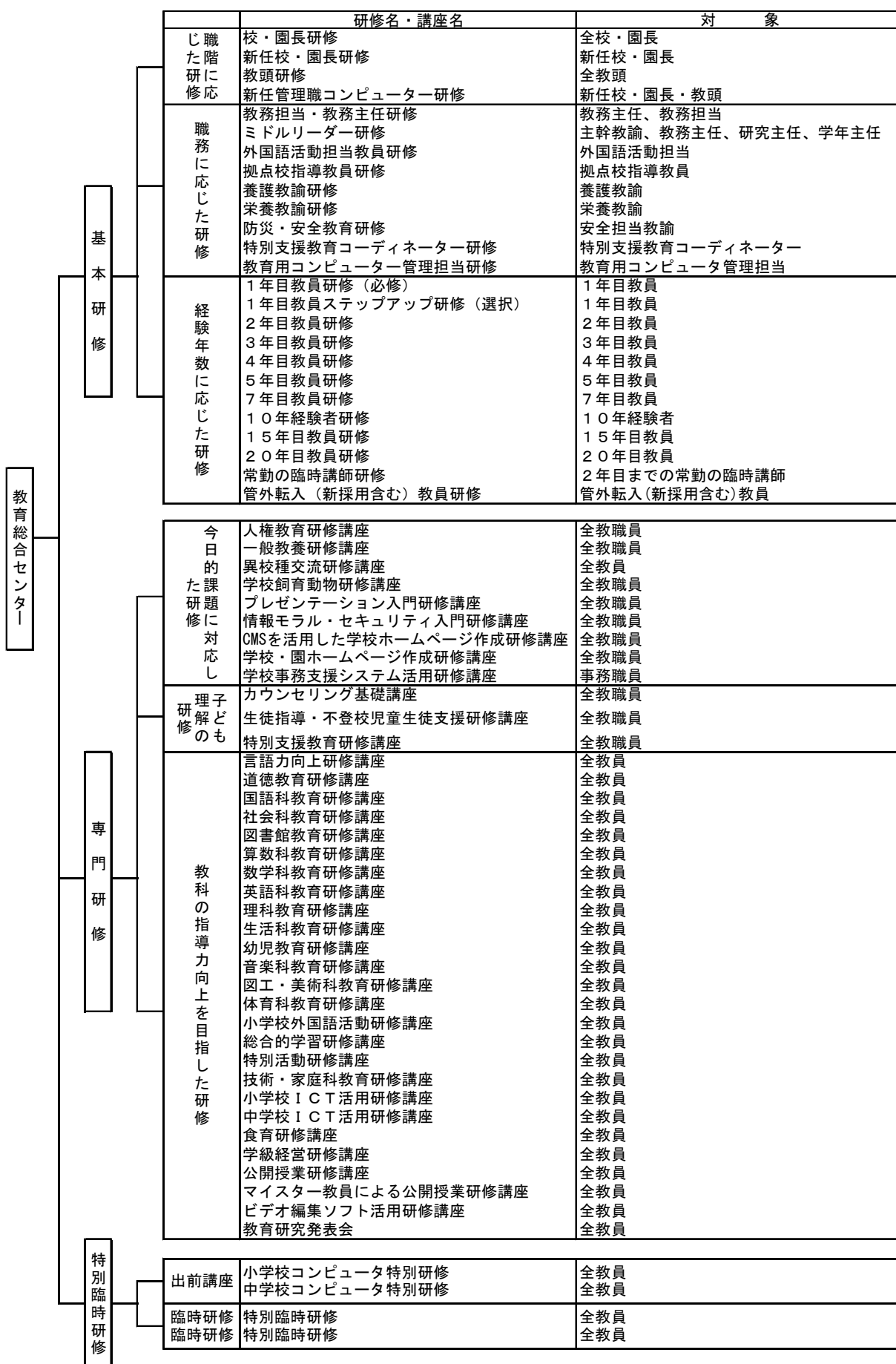
1 教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

- ① 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- ② 熟練した授業を参観することにより教員の授業力向上のために、マイスター教員が授業を公開する。(マイスター公開授業研修講座)
また、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- ③ 研究部会や研究会の成果を、発表会や紀要によって広く公開したり、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- ④ わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの研修を校内研修において実施していく。

2 教育総合センターの研修と自主研修の連携

- ① 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援を充実する。
- ② 教育総合センターの情報コーナーにおいて、書籍等で最新の情報やこれまで公開された授業の学習指導案を提供する。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。

6 研修体系図



7 教育総合センター研修一覧表

種別	中分類	新再設編◎☆	平成24年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対 象	対象校種	今年度、再編・新設した研修				
					情熱・責任感	授業力	専門性	対応力								
受講しなければならない研修（基本研修）	職に階たに研修		校・園長研修		○			○	学校経営課題（危機管理）	校・園長	全校種					
			新任校・園長研修	第 1 回	○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種					
				第 2 回	○		○		人権感覚を高める							
		◎	教頭研修		○				学校経営課題（教員の育成）	教頭	全校種		教頭研修を新設			
		新任管理職コンピュータ研修					○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種						
	職務に応じた研修	☆	ミドルリーダー研修	(1)	○		○		組織マネジメント	小・中・特の主幹教諭、 教務主任、研究主任、 学年主任の中から各研修に1名、7年目、10 年経験者、15年目、2 0年目教員は1つ選択 及び校・園長が認めた者	幼・小・中・特	対象者増設				
				(2)	○		○		人材育成・OJT							
				(3)	○		○		校内研究							
			教務担当・教務主任研修		○			○	教務担当・教務主任としての職務（小学校）	教務担当・教務主任	小・特					
					○			○	教務担当・教務主任としての職務（中学校）		中・特					
			外国語活動担当教員研修					○	外国語活動担当教員の職務	担当教員	小・特					
			拠点校指導教員研修		○			○	拠点校指導教員の職務	担当教員	小・中・特					
			養護教諭研修					○	感染症対策、健康管理と予防、教員連携	養護教諭	全校種					
			栄養教諭研修					○	子どものための大人の栄養教育	栄養教諭・栄養士	全校種					
		◎	防災・安全教育研修					○	○	防災・安全教育について	担当教員		全校種	防災・安全教育研修を新設		
			特別支援教育コーディネーター研修	第 1 回				○	○	特別支援教育について	特別支援教育コーディネーター		全校種			
				第 2 回				○	○	特別支援教育コーディネーターの役割について（重度含む）						
			教育用コンピュータ管理担当研修						○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特				
		教職年数に応じた研修			1 年目教員必修研修	第 1 回	○		○		尼崎の教育、服務、AMA-NETの活用、学級経営、グループ研修①	1 年目教員必修研修対象者	小・中・特			
	第 2 回					○				○	尼崎養護学校体験					
	第 3 回					○				○	接遇、生徒指導、グループ研修②					
	第 4 回							○	○		教科指導、安全教育					
	第 5 回					○			○	○	人権教育、教育相談、グループ研修③					
	第 6 回								○		情報教育①、学習用コンピュータの活用					
	第 7 回								○		環境教育、グループ研修④					
	第 8 回							○			教科指導等、教材づくり					
	第 9 回								○		防災教育（施設見学、体験）					
	第10回								○	○	情報モラル、社会体験報告会（職場体験フォーラム）					
	第11回								○	○	情報教育②、ICTの活用					
	第12回					○				○	地域・保護者との連携、初任研のまとめ、グループ研修⑤					
			ステップ・アップ研修（選択）	(1)			○	○	学校実務等・理科実験安全研修講座	1 年目教員必修研修対象者（選択）	小・中・特					
				(2)			○	○	実技指導、食育							
				(3)～(7)				○				授業設計1～5・公開授業研修講座1～5				
				(8)				○				指導実践発表と研究発表会				
			2 年目教員研修	共通研修				○		2 年目教員による公開授業研修講座6～9から1つ選択	2 年目教員	小・中・特				
				個人				○		2 年目教員授業実践研修（マンツーマン研修）の実施						
			3 年目教員研修		選択				○	3 年目教員による公開授業研修講座10～14から1つ選択	3 年目教員	小・中・特				
			4 年目教員研修	共通研修					○	4 年目教員による公開授業研修講座15～19から1つ選択	4 年目教員	小・中・特				
				個人					○	異校・園種交流研修講座の実施		小・中・高・特				
			5 年目教員研修	共通研修					○	授業力・指導力の向上	5 年目教員	小・中・特				
				選択					○	マイスター教員による公開授業研修講座1～8から1つ選択						
	◎		7 年目教員研修		共通研修	○				中堅教員としての職務	7 年目教員	小・中・特	7 年目教員研修（選択）を新設			
					選択				○	ミドルリーダー研修の中から1つ選択						
	☆		1 0 年経験者研修		共通研修					○	10 年経験者教員（11 年目教員）	小・中・特	選択内容を再編			
					選択				○	○				任意の11 研修を選択（ミドルリーダー1つとマイスター1つ必修）		
	☆		1 5 年目教員研修		共通研修					○	15 年目教員	小・中・特	選択内容を再編			
					選択					○				ミドルリーダー研修の中から1つ選択		
	☆		2 0 年目教員研修		選択					○	20 年目教員	小・中・特	選択内容を再編			
	希望による研修（専門研修）	今日的課題に対応した研修	常勤の臨時講師研修			○			○	教員として必要な知識や自覚、服務	2 年目までの常勤の臨時講師・助教諭及び校・園長が認めた者	幼・小・中・特				
			管外転入教員研修			○			○	本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	幼・小・中・特				
			人権教育研修講座	(1)					○	○	これからの人権教育のめざすもの	全教職員		全校種		
				(2)						○						○
				(3)												○
			一般教養研修講座							○	民間で活躍する人に学ぶ	全教職員		全校種		
			◎	異校・園種交流研修講座						○	○	異校・園種の教育活動について学ぶ	全教員	全校種	異校・園種交流研修講座を新設	
			☆	学校飼育動物研修講座							○	小動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特	1 回に再編	
				プレゼンテーション入門研修講座		第 1 回					○	説明力向上・プレゼンテーション演習 ＊ 2 回連続で受講すること	全教職員	全校種		
						第 2 回										○
				情報モラル・セキュリティ入門研修講座		第 1 回					○	モラル・セキュリティー入門 ＊ 2 回連続で受講すること	全教職員	全校種		
						第 2 回										○
				CMS を活用した学校ホームページ作成研修講座		(1)					○	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム ＊ 2 回のうち、1 つを受講すること	全教職員	小・中・特		
						(2)										○
				学校・園ホームページ作成研修講座		(1)					○	学校・園ホームページ作成、ホームページビルダー ＊ 2 回のうち、1 つを受講すること	全教職員	全校種		
						(2)										○
				学校事務支援システム活用研修講座							○	○	学校事務支援システムの活用	事務職員	全校種	
希望による研修（専門研修）	子どもための理解の研修			カウンセリング研修講座		(1)					○	○	カウンセリング入門研修	全教職員	全校種	
						(2)							○			○
				生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座		(1)						○	○	事例研究を通した子ども理解	全教職員	全校種
						(2)							○	○		
				特別支援教育研修講座		(1)						○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応	全教職員	全校種
						(2)								○		

種別	中分類	新再設編◎☆	平成24年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種	今年度、再編・新設した研修			
					情熱・感	授業力	専門性	対応力							
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修	☆	言語力向上研修講座			○			各教科における言語活動の充実	全教員	全校種	1回に再編			
			道徳教育研修講座	(1)		○	○	〈小学校教員向け〉道徳授業実践研究	全教員	全校種					
				(2)		○	○	〈中学校教員向け〉道徳授業実践研究							
			国語科教育研修講座	(1)		○		〈小学校教員向け〉PISA型読解力の育成	全教員	全校種					
				(2)		○		〈中学校教員向け〉伝統的な言語文化							
			社会科教育研修講座	(1)		○		〈小学校教員向け〉情報社会に求められる社会科授業づくり	全教員	全校種					
				(2)		○		〈中学校教員向け〉PISA型読解力向上に向けた実践							
		◎	図書館教育研修講座				○	○	学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種	図書館教育研修講座を新設			
			算数科教育研修講座				○		〈小学校教員向け〉活用する力を育む指導で気をつけたいこと	全教員	全校種				
		☆	数学科教育研修講座				○		〈中学校教員向け〉新学習指導要領	全教員	全校種	数学科教育研修から再編			
		☆	英語科教育研修講座				○		〈中学校教員向け〉新学習指導要領	全教員	全校種	英語科教育研修から再編			
			理科教育研修講座	(1)		○			〈小学校教員向け〉おもしろ実験・観察	全教員	全校種	中学校理科教育研修から再編			
		☆		(2)		○			〈中学校教員向け〉実験や観察で気をつけたいこと						
			生活科教育研修講座				○		〈小学校教員向け〉子どもと創出する生活科授業デザインの方法	全教員	全校種				
				(1)		○			色・形・手触りを楽しむ	全教員	全校種				
				(2)	○			○	魅力ある園をつくる一幼・小連携への提案ー						
				(3)		○			音感を楽しむ						
				(4)		○	○		子どもの発育と健康						
			音楽科教育研修講座				○		表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと	全教員	全校種				
			図工・美術科教育研修講座				○		評価で気をつけておきたいこと	全教員	全校種				
			体育科教育研修講座	(1)		○			〈小学校教員向け〉動きを身につけさせる指導	全教員	全校種				
				(2)		○			〈中学校教員向け〉武道の指導で気をつけておきたいこと						
				(3)		○			〈中学校教員向け〉ダンスの指導で気をつけておきたいこと						
			小学校外国語活動研修講座	(1)		○			授業で使えるネタあれこれ	全教員	全校種				
				(2)		○			効果的な活動事例						
			総合的学習研修講座				○		環境教育について	全教員	全校種				
		◎	特別活動研修講座					○	特別活動でできること	全教員	全校種	特別活動研修講座を新設			
			技術・家庭科教育研修講座				○		新学習指導要領	全教員	全校種				
		◎	小学校 I C T 活用研修講座				○	○	授業におけるICTの活用	全教員	小・特	小中学校ICT活用研修講座を新設			
		◎	中学校 I C T 活用研修講座				○	○		全教員	中・特				
			食育研修講座					○	子どもが育つ環境と社会	全教職員	全校種				
		◎	学級経営研修講座			○		○	○	学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種	学級経営研修講座を新設		
			公開授業研修講座	(小学校)	(1)		○		1年目教員による公開授業及び研究協議	・全教員 ・1年目教員はステップ・アップ研修(3)～(7)と合わせて選択	全校種				
					(2)		○								
					(3)		○								
					(中学校)	(4)		○						2年目教員による公開授業及び研究協議	・全教員 ・2年目教員は1つ選択すること
						(5)		○							
						(6)		○							
				(小学校)	(7)		○		3年目教員による公開授業及び研究協議	・全教員 ・3年目教員は1つ選択すること					
					(8)		○								
					(9)		○								
				(中学校)	(10)		○		4年目教員による公開授業及び研究協議	・全教員 ・4年目教員は1つ選択すること					
					(11)		○								
					(12)		○								
				(小学校)	(13)		○		マイスター教員による公開授業研修講座	・全教員 ・5年目教員、10年経験者教員は8本の講座から1つ選択すること					
					(14)		○								
					(15)		○								
				(中学校)	(16)		○		マイスター教員による公開授業研修講座	・全教員 ・5年目教員、10年経験者教員は8本の講座から1つ選択すること					
					(17)		○								
					(18)		○								
					(19)		○								
				マイスター教員による公開授業研修講座 （小学校教諭による授業） （中学校教諭による授業）	(1)		○		マイスター教員による公開授業研修講座	・全教員 ・5年目教員、10年経験者教員は8本の講座から1つ選択すること	全校種				
			(2)			○									
			(3)			○									
			(4)			○									
			(5)			○									
			(6)			○									
			(7)			○									
			(8)			○									
			ビデオ編集ソフト活用研修講座	(小)			○	小学校コンピュータを使ったビデオ編集	全教員	小・特					
				(中)			○	中学校コンピュータを使ったビデオ編集	全教員	中・特					
			教育研究発表会				○	○	教育総合センター研究発表会	全教員	全校種				
特別に実施する研修	出講前座		小学校コンピュータ特別研修			○	○	学校情報セキュリティシステム（個人情報漏洩対策及び校務支援システム）について	全教員	小・特					
			中学校コンピュータ特別研修			○	○		全教員	中・特					
	臨研修	特別臨時研修							セキュリティ研修			全校種			
									高校教員対象の研修			高			
									スポーツ医学と医者のかかり方			全校種			
									感染症対策、健康管理と予防、教員連携			全校種			
									子どものための大人の栄養教育			全校種			
									保護者対応研修			全校種			
									課題に対応した研修						

8 教職員研修計画内容

1 受講しなければならない研修(基本研修)

職階に応じた研修(職階別研修)

(実施時期で、夏季は夏季休業中)

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
校・園長研修		6月	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って、今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（危機管理）	校・園長	講話
新任校・園長研修	第1回	4月	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	新任校長 新任園長	講話
	第2回	夏季		人権感覚を高める		講話及び演習
教頭研修		夏季	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（連携について）	教頭	講話
新任管理職コンピュータ研修		4月	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

職務に応じた研修(職務別研修)

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
ミドルリーダー研修	第1回	夏季	管理職と教職員とをつなぐ役割についての理解を深め、効果的な進め方について学ぶ。	組織マネジメントについて	小・中・特の主幹教諭、教務主任、研究主任、学年主任の中から各研修に1名、7年目、10年経験者、15年目、20年目教員は1つ選択及び校・園長が認めた者	講話及び演習
	第2回			人材育成・OJTについて		
	第3回			校内研究について		
教務担当・教務主任研修			教務担当、教務主任として、校務に関する事項について円滑な連絡調整の方法について学ぶ。	教務担当・教務主任としての職務（小学校）	教務担当・教務主任（小・特）	講話
				教務担当・教務主任としての職務（中学校）	教務担当・教務主任（中・特）	講話
外国語活動担当教員研修		5月	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	外国語活動担当教員の職務	外国語活動担当教員	講話及び演習
拠点校指導教員研修		5月	初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける。	拠点校指導教員の職務（初任者指導に向けた資質の向上）	拠点校指導教員	講話及び演習
養護教諭研修		夏季	保健指導のあり方についての理解を深め、保健指導の指導力の充実を図る。	感染症対策、健康管理と予防、教員連携	養護教諭（全校種）	講話

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
栄養教諭研修	夏季	栄養指導における授業の計画の仕方や組み立て方を習得する。	子どものための大人の栄養教育	栄養教諭・栄養士	
防災・安全教育研修	夏季	防災・安全教育についての理解を深め、安全教育担当教員としての指導力の充実を図る。	防災・安全教育について	安全教育担当教員（全校種）	
特別支援教育コーディネーター研修	夏季	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育について	特別支援教育コーディネーター（全校種）	
			特別支援教育コーディネーターの役割について（重度含む）		
教育用コンピュータ管理担当研修	4月	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	

経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
1年目教員必修研修	第1回	4/24	尼崎の教育、尼崎の歴史、AMA-NETの活用、学級経営、グループ研修①	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者研修対象者	講話及び演習
	第2回	5/29 6/5	尼崎養護学校体験研修	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	講話及び実習
	第3回	6/19	接遇（保護者対応）、生徒指導、グループ研修②		講話及び演習
	第4回	7/3	安全教育、教科指導（指導案作成）		実習及び演習
	第5回	7/31	人権教育、教育相談、グループ研修③		講話及び演習
	第6回	8/7 8/28	情報教育①、学習用コンピュータの活用		
	第7回	10/2	環境教育、グループ研修④		
	第8回	10/16	教科指導等、教材づくり		
	第9回	10/30	防災教育（講話、施設見学、体験研修）		講話及び実習
	第10回	11/27	情報モラル、社会体験報告会（職場体験フォーラム）		講話及び演習

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備 考
1 年目教員必修研修	第 11 回	12/4 1/29	本市の教員としての自覚を 促し、教員としての資質・ 技能の向上と実践への意欲 を高める。	情報教育②、I C Tの活用	小・中・特別 支援学校の 初任者研 修対象者	講 話 及 び 演 習
	第 12 回	2/5		地域・保護者との連携、初任 研のまとめ、グループ別⑤		
ステップ・アップ研修	(1)	5/22	教育課題を実践的に学び、実験 の指導力やスキルアップを図る。	学校実務等・理科実験安全研 修講座	小・中・特別 支援学校の 初任者研 修対象者 (選択)	講 話 及 び 実 習
	(2)	7/24	今日的教育課題について、実践 的に学びスキルアップを図る。	実技指導、食育		講 話 及 び 演 習
	(3) ～ (7)	10月 ～ 1月	教育課題を実践的に学び、指導 案の作成を中心にスキルアップ を図る。	授業設計1～5（指導案の作 成）公開授業研修講座1～5		演 習
	(8)	2/12	教員としての自覚を促し、教育 課題を実践的に学びスキルアップ を図る。	指導実践等 研究発表会		
2 年目教員研修		7 月 ～ 2 月	各教科の教育理論と実践の統合 を図り、創造的な教育活動の指 導力を高める。	公開授業研修講座6～9から1つ 選択（公開授業及び研究協 議）	小・中・特別 支援学校の 2 年目教 員	
		7 月 ～ 2 月	個別の指導により、個人の課題 に応じて確かな指導力を身につ ける。	2年目教員授業実践研修（マン ツーマン研修）の実施		
3 年目教員研修		7 月 ～ 2 月	各教科の教育理論と実践の統合 を図り、創造的な教育活動の指 導力を高める。	公開授業研修講座10～14から1 つ選択（公開授業及び研究協 議）	小・中・特別 支援学校の 3 年目教 員	授 業
4 年目教員研修		7 月 ～ 2 月	各教科の教育理論と実践の統合 を図り、創造的な教育活動の指 導力を高める。	公開授業研修講座15～19から1 つ選択（公開授業及び研究協 議）	小・中・特別 支援学校の 4 年目教 員	
		7 月 ～ 2 月	異なる校・園種の子どもや教職員 との連携を図ることにより、他 校・園種の教育活動を学ぶ。	異校・園種交流研修講座の実 施	幼・小・ 中・高・特 別支援学校 の4 年目教 員	
5 年目教員研修	夏季		これまでの教育実践を踏まえ、指 導力向上を図るとともに各自の課 題を把握し今後の教員生活の充実 に資する。	授業力・指導力の向上を図る （共通研修の実施）	小・中・特別 支援学校の5 年目教員（養 護及び栄養教 諭含）	講 話 及 び 演 習
	7 月 ～ 2 月		これまでの教育実践を踏まえ、指 導力向上を図るとともに各自の課 題を把握し今後の教員生活の充実 に資する。	マイスター教員による公開授 業研修講座1～8から1つ選択 （公開授業及び講話）	小・中・特別 支援学校の5 年目教 員	授 業 及 び 講 話
7 年目教員研修	夏季		多くの対象教員が、採用後2校目 を経験するにあたり、中堅教員と しての意識の確立や職務について 学ぶ。	中堅教員としての職務 （共通研修の実施）	小・中・特別 支援学校の 7 年目教 員	講 話 及 び 演 習
			管理職と教職員とをつなぐ役割に ついての理解を深め、効果的な進 め方について学ぶ。	ミドルリーダー研修から1つ選 択		
1 0 年経験者研修	5 月		個々の能力や適性、ニーズに応 じて研修を実施し、指導力向上 など教員としての資質の向上を 図る。	尼崎の今日的課題 （共通研修の実施）	小・中・特別 支援学校の10 年経験者(11 年目)	講 話 及 び 演 習
	7 月 ～ 2 月		個々の能力や適性、ニーズに応 じて研修を実施し、指導力向上 など教員としての資質の向上を 図る。	任意の1 1 研修を選択（ミドル リーダー研修から1つとマイ スター教員による公開授業 研修講座から1つ必修）	小・中・特別 支援学校の10 年経験者(11 年目)	

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
15年目教員研修		夏季	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	ミドルリーダーとしての資質向上（共通研修の実施）	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭含）	講話及び演習
			管理職と教職員とをつなぐ役割についての理解を深め、効果的な進め方について学ぶ。	ミドルリーダー研修から1つ選択	小・中・特別支援学校の15年目教員	
20年目教員研修		通年	これからの教育課題を理解し、中堅教員として教育の理論と広い視野を身につける。	任意の研修を2つ選択（ミドルリーダー研修から1つは必修）	小・中・特別支援学校の20年目教員（養護及び栄養教諭含）	
常勤の臨時講師研修	(1)	6月	職務を遂行する上で必要な知識や教員としての資質を身につける。	教員としての必要な知識を身につけ、教員としての自覚を高める (1か2のどちらかを受講)	幼・小・中・特別支援学校の2年未満の常勤の臨時講師及び助教諭	
	(2)	10月				
管外転入教員研修		4月	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

2 希望による研修(専門研修)

今日的課題に対応した研修（教職課題研修講座）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
人権教育研修講座	(1)	夏季	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	これからの人権教育のめざすもの	全教職員	講話
	(2)					
	(3)					
一般教養研修講座			社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間企業で活躍する人に学ぶ		
異校・園種交流研修講座		7月～2月	異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携（TTによる授業及び実践等）	全教員	授業
学校飼育動物研修講座		6月	学校内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	小動物の扱い等のについての留意点		講話及び演習
プレゼンテーション入門研修講座	第1回		教育活動に活かすための基本的なプレゼンテーション技能を習得する。	説明力向上、プレゼンテーション演習 (2回連続で受講すること)	全教職員	演習
	第2回					

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
情報モラル・セキュリティ入門研修講座	第 1 回	夏季	情報モラル指導及び情報漏洩対策のための基本的な知識技能を修得する。	情報モラル・セキュリティ入門 (2回連続で受講すること)	全教職員	演習
	第 2 回					
CMSを活用した 学校ホームページ作成 研修講座	(1)		学校園のホームページに特化して、適切な情報発信を考える。	学校・園ホームページ作成、 コンテンツマネジメントシステム（CMS） (2回のうち、1回を受講する)		
	(2)					
学校・園ホームページ 作成研修講座	(1)			学校・園ホームページ作成、 ホームページビルダー (2回のうち、1回を受講する)		
	(2)					
学校事務支援システム活用研修講座		1 月	学校事務処理支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	学校事務支援システムの活用	事務職員	

子ども理解のための研修（教育相談研修講座）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
カウンセリング基礎講座	(1)	夏季	児童生徒への理解を深め、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る。	カウンセリング入門	全教職員	講話
	(2)			カウンセリングの基本的な演習		演習
生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)		児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について、理解を深める。	事例研究を通した子ども理解		
	(2)			不登校児童生徒の理解及び対応		講話
特別支援教育研修講座	(1)		教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応		
	(2)			実践的事例を通した子ども理解		

教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
言語力向上研修講座		夏季	各教科における言語活動の充実を図るための授業のあり方を学び、指導力の向上を図る。	各教科における言語活動の充実	全教員	講話
道徳教育研修講座 (1)(2)	(1)		児童生徒の心情を大切にする授業の在り方について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 道徳授業実践研究		授業
	(2)			(中学校向け) 道徳授業実践研究		

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考				
国語科教育研修講座 (1) (2)	(1)	夏季	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) P I S A型読解力の育成	全教員	講話				
	(2)			(中学校向け) 伝統的な言語文化						
社会科教育研修講座 (1) (2)	(1)		社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 情報社会に求められる社会科授業づくり			講話			
	(2)			(中学校向け) P I S A型読解力向上に向けた実践						
図書館教育研修講座			子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開				講話		
算数科教育研修講座			新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 活用力を育む指導法					講話	
数学科教育研修講座			数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校向け) 新学習指導要領						講話
理科教育研修講座	(1)		理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) おもしろ実験・観察		演習				
	(2)			(中学校向け) 実験や観察で気をつけたいこと						
生活科教育研修講座			実践例を通して学習活動の場づくりについて理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 子どもと創出する生活科授業デザインの方法			演習			
幼児教育研修講座	(1)		幼児教育についての理解を深め、保育実践における指導の充実を図る。	色・形・手触りを楽しむ						
	(2)			魅力ある園をつくる（幼小連携）						
	(3)			音感を楽しむ						
	(4)			子どもの発育と健康						
音楽科教育研修講座			表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと		講話及び演習				
図工・美術科教育研修講座			図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	評価で気をつけておきたいこと						
総合的学習研修講座			「総合的な学習の時間」のねらいを踏まえ、学校の実態に応じた学習活動について理解を深め、指導力の向上を図る。	環境教育をテーマにした授業づくり			講話			

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考		
体育科教育研修講座	(1)	夏季	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 動きを身につけさせる指導で 気をつけておきたいこと	全教員	実技		
	(2)			(中学校向け) 武道の指導で気をつけておき たいこと				
	(3)			(中学校向け) ダンスの指導で気をつけてお きたいこと				
技術・家庭科教育研修講座			技術・家庭科の授業実践を図る 技術を取得する。	新学習指導要領		講話		
小学校外国語活動研修 講座	(1)		小学校英語活動の指導内容と方法 について研修し、指導力向上 を図る。	授業で使えるネタあれこれ		演習		
	(2)			効果的な活動事例				
特別活動研修講座			特別活動の指導内容と方法につ いて研修し、指導力向上を図 る。	特別活動でできること				
学級経営研修講座			子どもたちの学校生活の基本となる 学級について、経営に関する基本 的な事項を確認し、指導力の向上 を図る。	学級経営の基本を学ぶ				
食育研修講座			子ども達の生きる力の基礎となる 「食育」の積極的な推進を図る。	食育推進で気をつけておきたい こと			全教職員	
小学校 I C T 活用研修講座			7 月 ～ 2 月	授業において I C T を効果的に 活用する方法について研修し、 指導力向上を図る。		授業における I C T の活用	全教員	演習
中学校 I C T 活用研修講座								
公開授業研修講座	(1) ～ (19)	7 月 ～ 2 月	各教科の教育理論と実践の統合 を図り、創造的な教育活動の指導 力を高める。	研究授業及び研究協議	全教員	授業		
マイスターによる公開 授業研修講座	(1) ～ (8)		見本となる授業とその研究協議 を通して、個々の授業力や指導 力を高める。	模範授業及び研究協議				
ビデオ編集ソフト活用研修講座		夏季	ビデオ編集ソフトの操作技法を 習得し、教材作成に役立てる。	学習用コンピュータを使った ビデオ編集	全教員	演習		
教育研究発表会		2/12	研究成果を発表し、学校・園及び 関係機関での研究推進と教育 実践の参考に資する。	教育総合センター研究発表会		講話 及び 発表		

9 視聴覚センターの研修・普及事業

研修事業

◇16ミリ映写機操作技術講習

目 的	16ミリ映写機の基礎知識及び操作技術の習得を図る。
対 象	18歳以上の市内在住・在学及び在勤者
回 数	3回 平成24年7月中旬・8月下旬・11月中旬
内 容	講話「16ミリフィルムと映写機」 映画「16ミリ映写機の原理と構造」 実技「16ミリ映写機の操作」

◇視聴覚室等機器操作講習会

目 的	視聴覚機器（教育総合センター視聴覚室）の操作技術の習得を図る。
対 象	視聴覚センター利用希望者
回 数	随 時
内 容	講話と演習「視聴覚機器の操作法」 音声－マイク、カセットレコーダー 映像－ビデオカメラ、ビデオプロジェクター等

10 研修・研修講座分担一覧

種別	中分類	平成24年度 研修・研修講座名		内容・領域	担当者									
					土高	寺田	仁科	桑野	太田	松田	民谷	大森	井上	青木
受講しなければならぬ研修（基本研修）	職階に応じた研修	校・園長研修		学校経営課題（危機管理）	○									
		新任校・園長研修	第1回	校・園長の職務		○								
			第2回	人権感覚を高める		○								
		教頭研修		学校経営課題について		○								
		新任管理職コンピュータ研修		ネットワークを利用した校務処理							○	○		
	職務に応じた研修	ミドルリーダー研修	(1)	組織マネジメント										
			(2)	人材育成・OJT			○							
			(3)	校内研究										
		教務担当・教務主任研修		教務担当・教務主任としての職務（小学校）			○							
				教務担当・教務主任としての職務（中学校）			○							
		外国語活動担当教員研修		外国語活動担当教員の職務		○								
		拠点校指導教員研修		拠点校指導教員の職務		○								
		養護教諭研修		感染症対策、健康管理と予防、教員連携				○						
		栄養教諭研修		子どものための大人の栄養教育				○						
		防災・安全教育研修		防災・安全教育について					○					
		特別支援教育コーディネーター研修	第1回	特別支援教育について					○					
			第2回	特別支援教育コーディネーターの役割について					○					
		教育用コンピュータ管理担当研修		教育用コンピュータシステムの管理と運用						○	○	○		
	教職年数に応じた研修	1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、服務、AMA-NETの活用、学級経営、グループ研修①						○				
			第2回	尼崎養護学校体験		○	○							
			第3回	接遇、生徒指導、グループ研修②					○					
			第4回	教科指導、安全教育		○		○						
			第5回	人権教育、教育相談、グループ研修③					○					
			第6回	情報教育①、学習用コンピュータの活用							○	○		
			第7回	環境教育、グループ研修④					○					
			第8回	教科指導等、教材づくり		○		○						
			第9回	防災教育（施設見学、体験）		○	○							
			第10回	情報モラル、社会体験報告会（職場体験フォーラム）			○		○					
			第11回	情報教育②、ICTの活用							○	○		
			第12回	地域・保護者との連携、初任研のまとめ、グループ研修⑤					○					
		ステップ・アップ研修（選択）	(1)	学校実務等・理科実験安全研修講座			○		○					
			(2)	実技指導、食育			○							
			(3)～(7)	授業設計1～5・公開授業研修講座1～5				○	○					
			(8)	指導実践発表と研究発表会			○							
		2年目教員研修	共通研修	2年目教員による公開授業研修講座6～9から1つ選択					○					
			個人	2年目教員授業実践研修（マンツーマン研修）の実施					○					
		3年目教員研修	選択	3年目教員による公開授業研修講座10～14から1つ選択		○								
		4年目教員研修	共通研修	4年目教員による公開授業研修講座15～19から1つ選択			○							
			個人	異校・園種交流研修講座の実施		○								
		5年目教員研修	共通研修	授業力・指導力の向上		○								
			選択	マイスター教員による公開授業研修講座1～8から1つ選択		○								
		7年目教員研修	共通研修	中堅教員としての職務			○							
			選択	ミドルリーダー研修の中から1つ選択			○							
		10年経験者研修	共通研修	共通研修（尼崎の今日的課題に取り組む）				○						
			選択	任意の11研修を選択（ミドルリーダー1つとマイスター1つ必修）				○						
		15年目教員研修	共通研修	ミドルリーダーとしての資質向上					○					
			選択	ミドルリーダー研修の中から1つ選択					○					
		20年目教員研修	選択	任意の研修を2つ選択（1つはミドルリーダーから必修）					○					

種別	中分類	平成24年度 研修・研修講座名		内容・領域	担当者									
					土高	寺田	仁科	桑野	太田	松田	民谷	大森	井上	青木
		常勤の臨時講師研修		教員として必要な知識や自覚、服務			○							
		管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み			○							
希望による研修（専門研修）	今日的課題に対応した研修	人権教育研修講座	(1)	これからの人権教育のめざすもの										
			(2)					○						
			(3)											
		一般教養研修講座		民間で活躍する人に学ぶ			○							
		異校・園種交流研修講座		異校・園種の教育活動について学ぶ		○								
		学校飼育動物研修講座		小動物の取り扱いについての留意点					○					
		プレゼンテーション入門研修講座	第1回	説明力向上・プレゼンテーション演習 * 2回連続で受講すること							○			
			第2回								○			
		情報モラル・セキュリティ入門研修講座	第1回	モラル・セキュリティ入門 * 2回連続で受講すること								○		
			第2回									○		
		CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム(CMS) (2回のうち、1回を受講する)							○			
			(2)								○			
		学校・園ホームページ作成研修講座	(1)	学校・園ホームページ作成、ホームページビルダー (2回のうち、1回を受講する)								○		
			(2)									○		
		学校事務支援システム活用研修講座		学校事務支援システムの活用										
希望による研修（専門研修）	子ども理解のための研修	カウンセリング研修講座	(1)	カウンセリング入門研修				○						
			(2)	カウンセリングの基本的な演習				○						
		生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)	事例研究を通した子ども理解					○					
			(2)	不登校児童生徒の理解及び対応										
		特別支援教育研修講座	(1)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応										
			(2)	実践事例を通した子ども理解										
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修	言語力向上研修講座		各教科における言語活動の充実				○						
		道徳教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)道徳授業実践研究		○								
			(2)	(中学校教員向け)道徳授業実践研究					○					
		国語科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)PISA型読解力の育成				○						
			(2)	(中学校教員向け)伝統的な言語文化				○						
		社会科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)情報社会に求められる社会科授業づくり		○								
			(2)	(中学校教員向け)PISA型読解力向上に向けた実践					○					
		図書館教育研修講座		学校における多様な読書活動の展開				○						
		算数科教育研修講座		(小学校教員向け)活用する力を育む指導で気をつけたいこと			○							
		数学科教育研修講座		(中学校教員向け)新学習指導要領			○							
		英語科教育研修講座		(中学校教員向け)新学習指導要領					○					
		理科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)おもしろ実験・観察		○								
			(2)	(中学校教員向け)実験や観察で気をつけたいこと					○					
		生活科教育研修講座		(小学校教員向け)子どもと創出する生活科授業デザインの方法				○						
		幼児教育研修講座	(1)	色・形・手触りを楽しむ				○						
			(2)	魅力ある園をつくる一幼・小連携への提案一										
			(3)	音感を楽しむ										
			(4)	子どもの発育と健康										
		音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと		○								
		図工・美術科教育研修講座		評価で気をつけておきたいこと		○								
		体育科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)動きを身につけさせる指導		○								
			(2)	(中学校教員向け)武道の指導で気をつけておきたいこと					○					
			(3)	(中学校教員向け)ダンスの指導で気をつけておきたいこと					○					

種別	中分類	平成24年度 研修・研修講座名		内容・領域	担当者												
					土高	寺田	仁科	桑野	太田	松田	民谷	大森	井上	青木			
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修	小学校外国語活動研修講座	(1)	授業で使えるネタあれこれ		○											
			(2)	効果的な活動事例		○											
		総合的学習研修講座		環境教育について				○									
		特別活動研修講座		特別活動でできること						○							
		技術・家庭科教育研修講座		新学習指導要領						○							
		小学校 I C T 活用研修講座		授業におけるICTの活用									○				
		中学校 I C T 活用研修講座		授業におけるICTの活用								○					
		食育研修講座		子どもが育つ環境と社会					○								
		学級経営研修講座		学級経営の基本を学ぶ				○									
		公開授業研修講座（中学校）	(小学校)	(1)	1年目教員による公開授業及び研究協議				○								
				(2)					○								
				(3)					○								
			(中学校)	(4)						○							
				(5)					○								
				(6)													
			(小学校)	(7)	2年目教員による公開授業及び研究協議					○							
				(8)													
				(9)													
			(小学校)	(10)	3年目教員による公開授業及び研究協議					○							
				(11)													
				(12)													
			(中学校)	(13)													
				(14)													
				(15)													
			(小学校)	(16)	4年目教員による公開授業及び研究協議					○							
				(17)													
				(18)													
			(中学校)	(19)													
		マイスター教員による公開授業研修講座 （小学校教諭による授業） （中学校教諭による授業）		(1)	マイスターによる模範授業及び講話				○								
				(2)	マイスターによる模範授業及び講話				○								
			(3)	マイスターによる模範授業及び講話			○										
			(4)	マイスターによる模範授業及び講話			○										
			(5)	マイスターによる模範授業及び講話			○										
			(6)	マイスターによる模範授業及び講話		○											
			(7)	マイスターによる模範授業及び講話		○											
			(8)	マイスターによる模範授業及び講話					○								
		ビデオ編集ソフト活用研修講座	(小)	学校情報セキュリティシステム（個人情報漏洩対策及び校務支援システム）について								○					
			(中)									○					
		教育研究発表会		教育総合センター研究発表会		○						○					
特別に実施する研修	講座前	小学校コンピュータ特別研修		情報の活用とモラル							○		○				
		中学校コンピュータ特別研修									○						
	臨時研修	特別臨時研修		セキュリティ研修	○												
				高校教員対象の研修													
				スポーツ医学と医者のかかり方													
				感染症対策、健康管理と予防、教員連携													
				子どものための大人の栄養教育													
				保護者対応研修													
				課題に対応した研修													

11 文科省・県教委等の実施する研修一覧

	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教員研修 センター	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支 援教育セン ター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員 及び新任通級指導担当教員
	基礎研修	特別支援学校及び幼・小・中・高等学校 教員
	実技研修	小・中学校の特別支援教育担当教員
	課題別研修	特別支援学校及び小・中学校の特別支援 教育担当教員
	学校訪問研修	小・中・特別支援学校教員
県立教育研 修所	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	
	自由研修	
県教委(阪神 教育事務所) 等主催	学校経営研修講座	平成24(2012)年度採用小・中・特別支援 学校校長
	学校管理職・教育行政職特別研修	平成24(2012)年度採用小・中・特別支援 学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会(校長)	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会(教頭)	小・中・特別支援学校教頭
	県立学校管理職(校長)研究協議会	高等学校校長
	県立学校管理職(教頭)研究協議会	高等学校教頭
	県立学校新任校長学校経営研修講座	平成24(2012)年度採用高等学校校長
	初任者研修(一部の講座に参加)	幼・小・中・特別支援・高等学校初任者 教員
	10年経験者研修(一部の講座に参加)	平成14(2002)年度採用小・中・特別支 援・高等学校教員
	教職経験者研修(5年目)	平成20(2008)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	教職経験者研修(中堅教員)(15年研修)	平成10(1998)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	5年・15年次高校教員研修講座	平成20(2008)・10(1998)年度採用高等学 校教員
	公立学校臨時的任用教員及び任用候補者講習会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	長期研修休業制度	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	教職員研究活性化支援事業	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員

12 平成23年度 研修報告

1 受講しなければならない研修

職階に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
校・園長研修		23	6	20	講話	こどもたちに伝える ～奈良国立博物館の挑戦～	奈良国立博物館 学芸部長	西山 厚	64
新任校・園長研修	第1 回		4	21		新任校・園長に望むこと	尼崎市 教育委員会 教育長	徳田 耕造	14
	第2 回		7	27	講話 演習	すべての子どもを支えるための 具体的な学校経営	京都府 総合教育センター 人材育成支援室 チーフアドバイザー	後野 文雄	13
新任管理職 コンピュータ研修			4	14 ～ 18		ネットワークを利用した校務処理	教育総合センター 指導主事	大濱 洋治	13

職務に応じた研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
ミドルリーダー研修	23	7	11	講話	ミドルリーダーとなる教員の役割（１）	奈良教育大学 教授	小柳 和喜雄	71
		8	18		ミドルリーダーとなる教員の役割（２）			70
		8	25		ミドルリーダーとなる教員の役割（３）			67
教務主任研修（１）		10	12	講話	教務担当、教務主任としての職務	奈良教育大学 准教授	赤沢 早人	26
教務主任研修（２）		8	24	講話	教務担当、教務主任としての職務	大阪市立 花乃井中学校 主幹教諭	石川 邦子	9
外国語活動担当教員研修		6	9	講話 演習	外国語活動の授業づくり －目標・指導計画・評価を結ぶ－	兵庫教育大学 准教授	今井 裕之	39
拠点校指導教員研修		6	14	講話 演習	初任者研修実施上の留意点と課題 他	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司 樋口 博子	14
養護教諭研修		7	26	講話	子どもの食物アナフィラキシーについて	いたやどクリニック 院長	木村 彰宏	74
栄養教諭研修		8	5	講話	栄養指導におけるカリキュラム開発及び授業設計	奈良教育大学 准教授	赤沢 早人	35
特別支援教育研修（１）		8	3	講話	配慮の必要な子どもたちへの具体的な取り組み（シンポジウム・グループ討議）	関西国際大学他 客員教授他	武田 契一 他	64

特別支援教育研修（２）	23	8	3	講話	配慮の必要な子どもたちへの具体的な取り組み（シンポジウム・グループ討議）	関西国際大学他 客員教授他	武田 契一 他	64
教育用コンピュータシステム管理担当研修		4	22	講話	教育用コンピュータシステムの管理と運用	指導主事		67

教職経験年数に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
1 年目教員必修研修	第 1 回	23	5	17	講話 演習	尼崎の教育、グループ研修 他	教育総合センター 総括	松田 光二	72
	第 2 回		6	1	体験	尼崎養護学校体験	尼崎養護学校 校長・教頭・教諭	井上 晴夫	60
	第 3 回		6	15	演習	生徒指導の考え方と進め方	南武庫之荘中学校校長	棚窪 哲司	58
						より良い人間関係を築くために ー接遇とクレーム対応ー	㈱阪急阪神ホテルズ [®] 近畿圏事業本部 本部専任部長	魚田 勝弘	
	第 4 回		7	6	講話及び 体験	「救命・救急法を学ぶ」	北消防署	職員	57
					講話及び 体験	「指導案の作成」	教育総合センター 指導主事	樋口 博子	
	第 5 回		8	2	講話	あーよかったな、あなたがいて ーつながりと感動を合言葉にー	尼崎市教育委員	仲島 正教	57
					講話	教育相談から見る、幼児児童生徒の姿	教育総合センター 係長	荒木 伸子	
	第 6 回		8	9 23	演習	情報教育研修①（小学校）	教育総合センター 指導主事・職員	大濱 洋治 泉原 健史	44
				8		9	情報教育研修①（中学校）	教育総合センター 指導員	民谷 洋二
	第 7 回		10	4	講話及び 演習	これからの環境教育	環境カウンセラー ひょうご 地球温暖化 防止活動推進員	黒谷 静佳	58
	第 8 回		10	18	講話	道徳教科指導	全日本中学校 道徳教育研究会 参与	宮脇 賢治	58
	第 9 回		11	1	講話及び 体験	防災教育	総務局・防災対策 課長補佐 尼崎市消防局 消防士	両橋 裕子 3 名	58
1 年目教員必修研修	第 10 回	23	11	29	講話及び 演習	コミュニケーションの取り方 ケータイ安全教室	NTTドコモ 関西支社 社会環境室	伊藤千佳子 小森 衣子	58
						社会体験研修報告	指導主事 他		
						社会人としての使命と誇り	教育総合センター 指導員	仁科 良久	

1 年目教員 必修研修	第 11 回	23	12 1	6 31	講話及び 体験	情報教育研修②（小学校）	教育総合センター 指導主事・職員	大濱 洋治 泉原 健史	44	
			1	31	講話及び 体験	情報教育研修②（中学校）	教育総合センター 指導員	民谷 洋二	13	
	第 12 回	24	2	7	講話	これからの情報教育	岐阜聖徳学園大学 教授	石原 一彦	57	
					演習	グループ別研修（全体地域研究 発表及び初任者研修のまとめ）	指導主事			
ステップ ・アップ研修 （選択）	(1)	23	5	24	講話及び 演習	学校実務と理科実験安全について	教育総合センター 指導主事		40	
	(2)		7	26		児童・生徒を引きつける造形活動			26	
	(3)		10	11	演習	授業設計入門（指導案づくり）			45	
	(4)		10	25					21	
	(5)		11	8					37	
	(6)		11	15					34	
	(7)		11	22	講話及び 演習	授業設計入門 家庭科阪神大会(公開授業)			23	
	(8)	23	2	14	講話	教員として学び続けるということ	成良中学校 教諭	中岡 禎雄	35	
2 年目教員研修		通年			演習	公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修	指導主事		92	
3 年目教員研修					授業参観	各地区毎に授業参観及び協議会	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	94	
4 年目教員研修					授業参観	異なる校・園種に行き、授業の参観と授業の実践	各校・園長及び 担当教員		88	
5 年目教員研修 （1）		23	7	28	講話及び 演習	5 年目教員に求められるもの	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	74	
5 年目教員研修 （2）		通年				マイスター教員公開授業研修講座より 1 講座を受講する	マイスター教員		74	
7 年目教員研修		23	7	27	講話	中堅教員としての職務	前武庫東小学校長	川野 吉信	44	
1 0 年経験者研修 （1）		23	5	13	講話	中堅教員におけるストレスとメンタルチェック 学校教育の現状と課題	教育総合センター 所長・係長	西本 兼田 由美 隆男	10	
1 0 年経験者研修 （2）		通年				任意の 1 2 研修を選択			17	
1 5 年目教員研修		23	7	29	講話及び 演習	中堅教員としての資質と役割及び社会人としての資質	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	9	

20年目教員研修		通年			個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択	各講師		19	
常勤の臨時講師研修	(1)	23	6	14	講話及び演習	人権意識と保護者対応	教育総合センター指導員	仁科 良久	53
	(2)		10	21		(1)を受講できなかった場合に受講			14
管外転入教員研修			5	12	講話	本市の教育の現状と課題 本市教職員の資質向上	学校教育室長 尼崎市教育委員	幾田 喜憲 磯田 雅司	22

教科内容に関する改善事項に応じた研修(教科指導力向上研修)

中学校理科教育 研修講座	第1回	23	7	29	講話	科学的思考力を育む授業	大阪教育大学 名誉教授	松本勝信	18
	第2回		8	30		授業記録ビデオによる授業設計			17
	第3回		10	5	講話及び演習	授業力向上に向けて			19
数学科教育 研修講座	第1回	23	7	22	講話	学習指導要領の内容と実践事例	神戸女子大学 教授	松本 博史	19
	第2回		8	5		学習指導要領の内容と実践事例			15
	第3回		10	6	講話及び演習	学習指導要領の内容と実践事例			24
英語科教育 研修講座	第1回	23	8	25	講話及び演習	1学期の授業の振り返り、授業改善の課題共有を図る	兵庫教育大学 准教授	今井 裕之	22
	第2回		8	31		授業改善方法の検討とアクションプランの作成			20
	第3回		9	24		2学期の授業経過を自己評価する			19

2 希望による研修

今日的課題に対応した研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
人権教育 研修講座	(1)	23	8	25	講話	「命の大切さ」を実感させる教育について	兵庫県立研究所 心の教育センター	黒河内 雅典	189
	(2)								192
	(3)		8	26	講話	中学校実践事例によるコミュニケーション能力高める指導のあり方	県立教育研修所 主任指導主事	浅井 英樹	136
一般教養研修講座			8	22	講話	尼崎の地場産業菰縄づくりについて	(株)岸本吉二商店 代表取締役社長	岸本 敏裕	36
地域活動研修講座		通年			実習	地域活動への参加・体験・貢献	各担当者		11

学校飼育動物研修講座（１）		23	6	30	講話	学校飼育動物の飼い方について	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 学校飼育動物委員会 会長	池上 裕 他	27
学校飼育動物研修講座（２）			12	6	講話	鳥インフルエンザについて・飼育動物に関するＱ＆Ａ	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 学校飼育動物委員会 委員長	村上 義久他	15
校務の情報化研修講座			7	27	演習	表計算ソフトを活用したアンケート処理の基礎	教育総合センター 指導員	民谷 洋二	14
プレゼンテーション 入門研修講座	(1)		8	4	演習	プレゼンテーション入門（１）			16
	(2)					プレゼンテーション入門（２）			16
情報モラル・ セキュリティ 入門研修講座	(1)		8	25	演習	学校における情報モラルとセキュリティ（１）			4
	(2)					学校における情報モラルとセキュリティ（２）			4
学校・園 ホームページ 作成研修講座	(1)		7	29	演習	学校・園ホームページを更新しよう。			8
	(2)								11
	(3)	8	18	4					
	(4)			3					
学校事務支援 システム 活用研修講座	(1)	24	2	講話及び 演習	学校事務支援システムの使い方について	(株)日本ビジネス コンピュータ	藤木 利轄	44	
	(2)								8 15

子ども理解のための研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
カウンセリング基礎講座	(1)	8	23	講話及び演習	カウンセリング入門	関西学院大学 准教授	中村 豊	52
	(2)				カウンセリング演習			
生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)	8	29	講話	実践事例を通した子ども理解・虐待	井上心理研究室 臨床心理士	井上 序子	46
	(2)				不登校児童生徒の理解と支援	神戸カウンセリング教育研究所代表	上地 安昭	93
特別支援教育研修講座	(1)	8	5	講話	特別支援を必要とする子どもの理解及び対応	阪神特別支援学校 支援部部長	小谷 真実	152
	(2)		8		実践事例を通した子ども理解	くらしき作陽大学 准教授	梶 正義	141

教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・ 役職	講師の氏名	受講 者数
言語力向上 研修講座	(1)	23	7	27	講話及び 演習	新聞を活用した授業実践新聞記者による言語指導（小学校向け）	伊丹市立 笹原中学校教頭 神戸新聞社室長	岡本 光子 吉岡 猛逸	62
	(2)		8	5		各教科における言語活動の充実	ベ・イ・コミュニケーションズ アナウンサー	田名部 真理	21
道徳教育 研修講座	(1)		10	13	研究授業 及び講話	研究授業 及び 道徳資料から『自己の生き方』を読み取るには	成文小学校・教諭 日本道徳教育学会近 畿支部副支部長	塩谷 聡子 宮脇 賢治	14
	(2)		9	22		研究授業 及び 道徳授業の充実に向けて	青山学院大学 講師	生越 詔二	18
国語科教育研修講座	(1)		8	4	講話	国語科におけるPISA型読解力の育成（小学校向け）	兵庫教育大学大学院 教授	吉川 芳則	119
	(2)		8	5		古典に親しむ小・中連携授業の提案ー（中学校向け）	元神戸大学附属 住吉中学校 元教諭	遠藤 瑛子	12
社会科教育 研修講座	(1)		8	8	講話	情報社会に求められる社会科授業づくり（小学校向け）	兵庫教育大学大学院 教授	關 浩和	23
	(2)		7	29		PISA型読解力の向上について（中学校向け）	兵庫教育大学大学院 教授	吉水 裕也	4
算数科教育研修講座			8	29	講話及び 演習	算数科・学習指導要領のポイントと算数的活動の具体例	兵庫教育大学大学院 准教授	加藤 久恵	21
理科教育研修講座 （1）			7	28	講話及び 演習	実験や観察で気をつけたいこと（小学校）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	23
理科教育研修講座 （2）			8	1	講話及び 演習	植物教材の栽培法と観察法	元上坂部小学校教諭	畑 直秀	52
生活科教育研修講座			8	8	講話及び 演習	子どもと創出する生活科授業デザインの方法	兵庫教育大学大学院 教授	關 浩和	59
幼児教育研修講座	(1)		8	4	講話	楽しい器楽合奏をするためのアプローチ	園田南小学校 主幹教諭	藤原 和恵	53
	(2)		8	9	講話	魅力ある園をつくる一幼・小連携への提案ー	京都市立みつば 幼稚園園長	永本 多紀子	38
	(3)		8	2	講話及び 演習	感性を働かせて挑む図画工作の授業 幼小連携の意識から	園和小学校 主幹教諭	大津 雅子	69
	(4)		10	19	講話	知っておきたい子どもの心と体	鈴木クリニック院長	鈴木 啓嗣	32
音楽科教育研修講座			8	22	講話及び 演習	自分がうたい、みんなでつくる合唱	町田市立鶴川第2 小学校教諭	眞鍋 なな子	73
図工・美術科教育 研修講座			8	1	講話及び 演習	新学習指導要領に基づく、新しい図工の授業の在り方	新宿区立花園小学校 主幹教諭	横内 克之	56

体育科教育 研修講座	(1)	23	7	25	演習	泳法指導の実践ー水慣れ・ク ロール・平泳ぎ編ー（小学校向 け）	尼崎市スポー ツ振興事業団 指導員	坂根 徹 西 さおり	57	
	(2)		8	23		（中学校教員向け） ダンスの指導で気をつけて おきたいこと	武庫川女子大学 教授	北島 見江	12	
	(3)		8	30		（中学校教員向け） 武道（剣道）の指導で気をつ けておきたいこと	大成中学校・教諭 大成中学校・教諭 西宮市立真砂中学 校・教諭	中 俊弘 長谷川 久志 岡部 茂	13	
小学校外国語 活動 研修講座	(1)		8	10	講話及び 演習	授業の組み立て方と活動のアイ デア	園田学園女子大学 准教授	衣笠 知子	18	
	(2)		8	26		楽しく話すクラスルームイン グリッシュ	尼崎市教育委員会 ALT	ジョン アン デュリュース 他7人	10	
総合的学習研修講座			8	4	講話	私たちと世界のつながり	独立行政法人 国際協力機構JICA兵 庫 プログラム・コ ーディネーター	山田 麻紀	41	
技術・家庭科教育 研修講座			8	4	講話及び 演習	高等学校における情報教育（中 学校向け）	尼崎双星高等学 校教頭	谷 清隆	4	
食育研修講座			7	26	講話	学校農園から始まる食育	下坂部小学校 教頭	酒井 隆文	66	
視聴覚教材 作成研修講座	(1)		8	23	演習	小学校学習用コンピュータを 使ったビデオ編集	教育総合センター 指導員	民谷 洋二	9	
	(2)					中学校学習用コンピュータを 使ったビデオ編集			4	
公開授業研修講座	(1)		10	11	授業参観 及び 研究協議	授業者 中嶋 真実（園田南 小）	教育総合センター 指導主事	樋口 博子	45	
	(2)		10	25		授業者 寺岡 亮（園田中）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	21	
	(3)		11	8		授業者 瀬戸 愛弓（金楽寺 小）	教育総合センター 指導主事	樋口 博子	37	
	(4)		11	15		授業者 安田 稔（潮小学校）	教育総合センター 指導主事	樋口 博子	34	
	(5)		11	22		家庭科阪神大会（下坂部小学 校）	教育総合センター 指導主事	樋口 博子	23	
	(6)		24	1	24	授業参観 及び 研究協議	授業者 三原 聖（成徳小）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	24
	(7)		23	10	28		授業者 平島 理絵（梅香小）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	21
	(8)			11	17		授業者 西 智子（杭瀬小）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	23
	(9)		24	1	16		授業者 宮崎 今日子（常陽 中）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	18
	(10)		23	11	11		授業者 西尾 祐一（南武庫之 荘中）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	5

公開授業研修講座	(11)	23	11	16	授業参観 及び 研究協議	授業者 大浦 史雄（武庫中）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	20
	(12)		11	17		授業者 延澤 遥子（大庄中）	教育総合センター 係長	兼田 隆男	9
	(13)		12	1		授業者 足立 敬一（竹谷小）	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	11
	(14)	24	1	26		授業者 笠原 清大（下坂部小）	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	10
	(15)		1	31		授業者 木澤 智彦（小園小）	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	22
	(16)		2	9		授業者 濱口 雅代（立花小）	教育総合センター 指導主事	寺田 忠司	22
	(17)	23	12	8	授業参観 及び 研究協議	授業者 神谷 太一（園田北小）	教育総合センター 指導員	仁科 良久	28
	(18)		10	20		授業者 城 希美（啓明中）	教育総合センター 指導主事	藤井 健三郎	8
	(19)		12	2		授業者 壺内 えり子（成文小）	教育総合センター 指導員	仁科 良久	30
	(20)	24	2	2		授業者 堀口 恵（武庫東中）	学校教育担当 指導主事	鈴木 美臣	24
マイスター による 公開授業 研修講座	(1)	23	7	5	講話及び 参観	エネルギー変換	成良中学校 教諭	中岡 禎雄	2
	(2)		7	25		キッズサイエンス夏休み子ども 理科実験教室	武庫庄小学校 教諭	山下 由記子	6
	(3)	24	1	19		電流	立花中学校 主幹教諭	松島 修	8
	(4)	23	10	4		楽曲のおもしろさをみつけ、楽 しく表現しよう	園田南小学校 主幹教諭	藤原 和恵	42
	(5)		10	3		作品の世界を深く味わおう 『やまなし』	七松小学校 教諭	桑野 光枝	21
	(6)		10	28		流れる水のはたらき	尼崎北小学校 主幹教諭	中田 眞一	10
	(7)		11	10		図形の性質	大庄北中学校 教諭	伊藤 美幸	11

マイスター による 公開授業 研修講座	(8)	23	12	2	講話及び 参観	読み聞かせを聞く雪女	園和北小学校 主幹教諭	佐藤 隆史	27
	(9)		12	13		比例と反比例	武庫北小学校 主幹教諭	中野 穰	13
	(10)	24	1	31		なかよくベタベタハンズリング の学習から広げて幼・小連携の 取組	園和小学校 主幹教諭	大津 雅子	50
教育研究発表会		24	2	14	講話	教育研究部会の発表	園田学園女子大学 准教授	廣岡 正昭	78

特別に実施する研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・ 役職	講師の氏名	受講 者数
小学校コンピュータ 特別研修	通年			講話及び 演習	コンピュータの活用について	教育総合センター 指導主事	大濱 洋治	16
中学校コンピュータ 特別研修						教育総合センター 指導員	民谷 洋二	24
保護者対応研修	23	7	25	講話	保護者対応について	前尼崎北小学校長	眞鍋 憲司	88
小中連携研修		7	29		これからの小中連携の在り方	兵庫教育大学 教授	佐藤 真	66
小学校外国語活動研 修	24	2	23	講話	外国語活動の充実に向けて 評 価・新教材・小中連携	文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	直山 木綿子	61
中学校特別活動研修		2	6	講話	学校教育における特別活動の意 義	奈良教育大学 大学院教授	池島 徳大	15
高等学校 新教育課程研修	23	7	26	講話	新学習指導要領について	兵庫県立 教育研修所 主任指導主事	千家 弘行	8
道徳教育研修	24	2	2	講話	道徳の授業づくり	日本道徳教育学会 近畿支部 支部長	行本 美千子	61
社会性の育成研修		2	28	演習	子どもたちの社会性の育成を 目指した中学校の取組について ーボランティアをキーワードに ー	学習院大学 教授	長沼 豊	49
音楽研修		2	4	講話	尼崎市小学校音楽研究会第15 回自主研究・演奏発表会の リハーサルにおける指導助言	元尼崎市立中学校 教頭	松岡 要	36
校・園長研修	23	10	13	講話	最近の教育改革について	兵庫県教育委員会 事務局 教育企画課課長	中安 史明	82
特別臨時研修		10	21	講話	夢を持ち、夢を伝えるーイチ ロー・田中将大との出会いを通 してー	NPO法人 ベースボールズリッツ 理事長	奥村 幸治	50

13 平成23年度 教育相談担当の研修事業等報告

1 教育相談スーパーバイズ

教育相談の事例等に関し、専門的な立場である大学教授および心療内科医等から助言・指導を受けることにより、相談員の資質向上と業務の充実を図ります。

〈スーパーバイザー〉

分野	氏名	職名
教育臨床	井上 敏明	六甲カウンセリング研究所長
小児科・内科医	濱田 泰	浜田小児科・内科クリニック院長
大学教授	嶋崎 まゆみ	兵庫教育大学大学院准教授

年	月	日	担当	テーマ・内容
23	6	9	井上 敏明	教育相談について アスペルガー症候群について
23	9	29	嶋崎 まゆみ	場面緘黙と不登校傾向の 児童の事例について
23	1	23	濱田 泰	書字と漢字の記憶に困難を示す 児童の事例について

『教育相談担当』活動状況

1 相談件数

(平成23年4月～24年3月)

(平成23年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相談件数 ①+②	177	179	197	155	106	162	146	136	134	122	136	158	1,808
①電話相談	78	139	157	116	87	143	120	113	111	107	121	129	1,421
面接相談 ②相談者数	99	40	40	39	19	19	26	23	23	15	15	29	387
③延面接数	193	233	293	268	290	252	287	299	214	269	230	238	3,066
延相談件数 ①+③	271	372	450	384	377	395	407	412	325	376	351	367	4,487
出張相談 面接数(再掲)	5	13	4	9	4	9	5	4	5	3	8	11	80
研修数(再掲)	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
延出張相談数(再掲)	5	13	4	12	7	9	5	4	5	3	8	11	86

2 電話相談

(1) 相談内容別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身 体 言 語	3	5	4	8	3	7	3	4	5	4	8	12	66
精 神 情 緒	18	51	46	33	19	52	32	32	22	31	19	41	396
性 格 行 動	38	53	61	36	42	58	56	43	52	42	56	42	579
学 業 進 路	13	21	34	23	15	21	21	22	29	24	28	24	275
そ の 他	6	9	12	16	8	5	8	12	3	6	10	10	105
合 計	78	139	157	116	87	143	120	113	111	107	121	129	1,421

(2) 相談対象者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	7	13	9	10	3	4	6	1	4	2	2	3	64
小 学 生	42	60	69	47	42	63	40	47	61	53	47	61	632
中 学 生	15	37	45	32	24	48	40	34	25	28	36	30	394
高 校 生	4	12	8	5	3	2	11	4	2	2	5	5	63
教 員 他	10	17	26	22	15	26	23	27	19	22	31	30	268
合 計	78	139	157	116	87	143	120	113	111	107	121	129	1,421

(3) 相談者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
小 学 生	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4
中 学 生	0	3	2	1	0	4	2	1	0	1	2	1	17
高 校 生	1	5	2	1	1	0	2	0	0	0	1	0	13
教 師	14	33	30	16	15	39	40	30	27	22	22	20	308
保 護 者	47	66	85	66	44	62	50	54	60	55	57	69	715
そ の 他	16	32	38	32	26	37	26	28	23	29	39	38	364
合 計	78	139	157	116	87	143	120	113	111	107	121	129	1,421

3 面接相談

(1) 受付人数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 子	39	13	7	12	2	2	4	9	2	2	6	10	108
女 子	60	27	33	27	17	17	22	14	21	13	9	19	279
合 計	99	40	40	39	19	19	26	23	23	15	15	29	387

(2) 相談内容別数

(平成23年4月～24年3月)

(平成23年度)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身体言語	相談者数	7	0	1	0	1	1	3	2	1	1	2	3	22
	延面接数	11	4	8	7	7	7	13	13	8	8	3	11	100
精神情緒	相談者数	31	12	11	8	3	7	6	3	5	2	0	7	95
	延面接数	71	91	119	101	92	116	119	121	75	101	90	94	1,190
性格行動	相談者数	51	14	20	23	9	8	15	13	11	9	7	8	188
	延面接数	90	100	133	132	149	106	127	145	105	126	107	95	1,415
学業進路	相談者数	10	6	8	4	5	1	0	3	6	2	0	3	48
	延面接数	21	26	33	24	40	17	23	16	24	29	22	28	303
そ の 他	相談者数	0	8	0	4	1	2	2	2	0	1	6	8	34
	延面接数	0	12	0	4	2	6	5	4	2	5	8	10	58
合 計	相談者数	99	40	40	39	19	19	26	23	23	15	15	29	387
	延面接数	193	233	293	268	290	252	287	299	214	269	230	238	3,066
出張面接(再掲)		5	13	4	9	4	9	5	4	5	3	8	11	80

(3) 相談対象者別数(校種別)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	相談者数	5	4	4	12	3	1	1	2	1	0	0	3	36
	延面接数	7	15	21	34	31	24	19	19	16	13	11	13	223
小 学 生	相談者数	64	18	22	12	9	11	15	13	19	8	4	14	209
	延面接数	126	141	183	152	168	128	149	176	135	168	135	147	1,808
中 学 生	相談者数	19	7	11	10	5	4	7	6	2	6	3	2	82
	延面接数	36	45	64	63	75	76	88	86	50	73	64	54	774
高 校 生	相談者数	10	3	3	1	0	1	1	0	1	0	0	1	21
	延面接数	20	17	22	13	11	15	25	13	11	7	8	11	173
教 員 他	相談者数	1	8	0	4	2	2	2	2	0	1	8	9	39
	延面接数	4	15	3	6	5	9	6	5	2	8	12	13	88
合 計	相談者数	99	40	40	39	19	19	26	23	23	15	15	29	387
	延面接数	193	233	293	268	290	252	287	299	214	269	230	238	3,066

(4) 紹介者経路

区 分	継続・以前	学校・園等	知 人	病 院	公的機関	市報・その他	合 計
人 数	162	140	24	6	33	44	409

14 平成 23 年度 教育研究部会の概要報告

1 算数・数学科教育研究

小中連携を軸に算数・数学的活動を考える

指導員	仁 科	良 久	
研究員	立 花	智 代	(武庫東小)
〃	山 岡	正 明	(浜 田 小)
〃	藤 井	恵 子	(長 洲 小)
〃	藤 井	俊 史	(小 園 中)

【内容の要約】

学力向上と小中連携は、本市における大きな課題である。学力の向上という問題を考えたとき「中 1 ギャップ」の解消は急を要する問題である。一方、小中連携において数学科は比較的ギャップの大きい教科として取りざたされている。そこで、本年度は算数的活動、数学的活動を通して子どもたちが主体性や目的意識を持って取り組み、算数科、数学科のよさや楽しさを感じさせることができる授業作りを研究する。これにより小中の円滑な連携を考えたい。

また、「数量関係」を本年度の重点的研究領域として取り上げ、義務教育 9 年間を見通した活動を考察することにした。

2 国語科教育実践研究

確かな言葉の力を育てる指導の研究

ー 文学的な文章・説明的な文章の「比べ読み」を通して ー

指導主事	樋 口	博 子	
研究員	吉 田	大	(長 洲 小)
〃	山 崎	佳 奈	(小 園 小)
〃	大久保	智	(園田南小)
〃	本	風海子	(潮 小)
〃	坂 本	肇	(下坂部小)

【内容の要約】

本年度は、複数の文章や作品を読み比べることを通して、「読む力」を高める指導を試みる。「読むこと」の学習において「比べ読み」は、児童の「読む能力」を高めるのに効果的な学習活動である。文学的な文章・説明的な文章の読み比べから、気づいたことを伝え合い、評価していく活動のあり方について検討し、授業実践に取り組んでいく。

3 社会科教育研究

社会科の基礎学力向上と小中の効果的な連携

指導員	民 谷	洋 二	
研究員	吉 田	満	(小園中)
〃	大 西	勝 也	(立花中)
〃	新 田	達 矢	(浜 小)
〃	宮 城	久 雄	(水堂小)
〃	高 島	洋	(園和北小)

【内容の要約】

「尼崎市学力・生活実態調査報告」によれば、社会科について、小学校では「知識・技能の定着」に課題があり、中学校では「社会的な思考判断」に課題がある。

小・中学校それぞれの課題に対応し、基礎学力の向上につながる学習活動として「言語力の育成」に注目した。

授業のなかで、「学習したことをまとめる」「まとめたことを発表する」という活動を取り入れることで、「思考力・判断力・表現力の向上」と「知識・技能の定着」につながるのではないかと考え、授業で実践する。

4 外国語活動・英語科教育研究

子どもの学習意欲を高める効果的な評価方法の研究

指導主事	寺 田	忠 司	
研究員	常 見	雅 代	(名 和 小)
〃	手 嶋	浩 之	(塚 口 小)
〃	中 尾	絵梨奈	(武庫の里小)
〃	濱 田	智 子	(大庄北中)
〃	平 井	優 子	(園 田 中)

【内容の要約】

子どもの学習意欲を高めるために、プロジェクト型学習の単元構想及び効果的な評価について研究し、次の2点を重点課題として取り組む。

- 1 評価規準及び評価方法を明確化したプロジェクト型学習の単元を開発する
- 2 授業実践を通してプロジェクト型学習の単元及び評価についての成果を確認する

授業実践を通して、児童生徒の行動観察や振り返りカードの結果から、質問項目について数値による自己評価が授業の回数を重ねる毎に高くなる傾向が見られた。また、プラス評価をさせることに留意して他者評価の場面を設定した結果、大きな充実感を味わったり、自信を持ったりすることができたという意欲的な感想が多数あった。

これらのことから、子どもの学習意欲を高めるためには、プロジェクト型学習の単元を構成し、自己及び他者評価の場面を設定することが有効であると考えられる。

5 教育相談研究

学級を基盤としたよりよい人間関係づくりを目指して

指導主事	青 木	優樹恵	
研究員	磯 野	明 子	(武庫の里小)
〃	由 良	健 一	(武庫の里小)
〃	山 下	佳 奈	(園 田 小)
〃	四 方	佑 季	(武庫東小)
〃	岩 佐	真由実	(武庫東中)
〃	高 田	奈央子	(日 新 中)

【内容の要約】

子どもたちにとって一日の大半を過ごす学校において、生活の基盤となるのが「学級」である。そこで、学級における人間関係づくりについて研究する。

まず、子どもたちの実態を把握するために、アンケートを作成し、実施した。その結果、自尊感情が低いことがわかった。

そこで、「いいところみつけ」等、いくつかの実践を継続して行うことにより、学級がどう変わったか、個々のつながりはどう変容したか、自尊感情は高まったかを、アンケート結果をもとに考察する。

6 教育の情報化研究

学校情報セキュリティに関する研修モデルカリキュラム開発

指導主事	大 濱	洋 治	
研究員	野 村	重 義	(塚 口 中)
〃	片 山	雅 之	(若 葉 小)
〃	兒 玉	崇	(園 田 小)
〃	山 本	宣 忠	(小 園 小)
〃	福 田	達 也	(立花南小)
〃	貝 畑	健 太	(武庫東小)

【内容の要約】

昨年度、外部委託により実施した尼崎市小・中学校の情報セキュリティ実態調査結果をふまえ、教員の情報セキュリティ意識を高めるとともに、組織としても個人情報等の重要な情報を守る確かな取り組みができるよう、主に各校の情報教育担当者がリーダーとなって取り組める『学校情報セキュリティ研修モデルカリキュラム』を開発する。

さらに、開発にあたっては情報通信分野の企業の協力を得ながら、外部より、コーディネーター及び講師を招聘し、学校に合った効果的な研修が実施可能となる研修モデルカリキュラムにしていく。

15 児童生徒文化充実支援事業の概要報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催いたしました。

- 1 中高合同音楽発表会（平成 23 年 11 月 4 日 アルカイクホール）
小学校音楽発表会（平成 23 年 11 月 17・18 日 アルカイクホール）
- 2 幼児画・図工・美術展（平成 23 年 12 月 15 日～18 日 総合文化センター）
- 3 演劇発表会（平成 24 年 1 月 22 日 ピッコロシアター）
- 4 書道展（平成 24 年 1 月 26 日～29 日 総合文化センター）
- 5 なかよし作品展（平成 24 年 1 月 19 日～1 月 22 日 総合文化センター）
- 6 英語祭
（平成 23 年 11 月 9 日
園田女子学園）
- 7 ひとりひとりの
持ち味がにじむ美術展
（平成 24 年 1 月 19 日～1 月 22 日
総合文化センター）
- 8 特別支援学級卒業生を送る会（平成 24 年 2 月 18 日 小田公民館）
- 9 スピーチフェスティバル（平成 24 年 2 月 9 日 教育総合センター）
- 10 放送、映画感想文発表会（平成 23 年度は紙上発表）
- 11 読書感想文発表会（平成 23 年 11 月 10 日 教育総合センター）
- 12 理科作品発表会（平成 23 年 9 月～10 月 小田公民館、市役所ロビー）
- 13 社会作品発表会（平成 23 年 9 月 30 日～10 月 6 日 中央公民館）
- 14 技術家庭作品発表会（平成 24 年 2 月 11 日 12 日 青少年センター）



16 平成23年度 視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告

16ミリ映写機操作技術講習会 (参加人数 17人)

月	日	テーマ
7	13	演習「16ミリ映写機の操作法」
8	24	演習「16ミリ映写機の操作法」
11	16	演習「16ミリ映写機の操作法」

(2) 視聴覚ライブラリー利用状況

① 受付件数

学校関係	24
公共団体	44
民間団体	6
個人	8
計	82

学校関係：公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等

公共団体：学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等

民間団体：各学校PTA・子ども会・自治会・地域団体・老人会等

個人：個人登録者

② 利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児	0	0	0	1,050	760	0	90	123	60	5	0	0	2,088
小学生	10	0	0	84	339	57	550	880	3,481	106	0	248	5,755
中学生	0	0	0	0	10	0	0	320	0	0	0	528	858
高校生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般	130	16	8	394	219	390	104	54	302	41	0	300	1,958
計	140	16	8	1,528	1,329	447	744	1,377	3,843	152	0	1,076	10,660

③ 教材・教具別貸出状況

(台)／(巻)

16ミリ映写機	スライド映写機	液晶プロジェクター	DVDプレーヤー	OHP	スクリーン	暗幕	合計
7	1	12	2	2	10	0	34

16ミリフィルム	ビデオテープ	スライドフィルム	TP	CD教材	DVD教材		合計
24	105	1	0	0	2		132

17 平成23年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校 昭和40年以降の教科書 中学校 昭和37年以降の教科書 高等学校 昭和54年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく一般図書
2 法定展示	展示期間	平成23年6月17日 ～ 平成23年7月6日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	平成23年度～平成26年度使用小学校用教科書 平成24年度～平成27年度使用中学校用教科書 平成24年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書

18 平成23年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集（保有数）	
・ 教育関係図書	13,310冊
・ 教育関係資料（研究紀要・報告書）	7,047冊
・ 逐次刊行物	
雑誌収集	15タイトル
新聞収集	1タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」	No. 120 ～ No. 123 （平成23年5月、9月、12月、平成24年3月の年4回発行）
・ 「教育あまがさき」	第68号 ～ 第69号 （平成23年10月、平成24年3月の年2回発行）
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 49号

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

教育総合センター所長 あて

校・園 名
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____
- 2 研修実施日 平成 年 月 日 ()
- 3 対象者名 _____
- 4 欠席理由 _____

以 上

(様式4)

第 号
平成 年 月 日

兵庫県教育委員会
阪神教育事務所長 様

校 名
校長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届け出ます。

1 研 修 名 _____

2 研 修 実 施 日 平成 年 月 日 ()

3 欠席者の職名・氏名

職名 _____

氏名 _____

4 欠 席 理 由

以 上

(様式5)

平成 年 月 日

県立教育研修所長 様

学校名 _____

校長名 _____

職
印

欠 席 届

平成24年度現職教育研修講座を下記により欠席しますので届け出ます。

記

講座番号			
講座名			
欠席期日		平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()	
期 間		() 日間	
欠席者	職 名		
	氏 名		
欠 席 理 由		区分	公務のため ・ 私用のため ・ その他
		(理由を記入してください)	

欠席届は、県立教育研修所長あて直送してください。